

令和3年7月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,803億円（対前年同月比55.6%の増加、比率ベース：9ヵ月連続の増加）、輸入総額は968億円（同39.0%の増加、6ヵ月連続の増加）であった。差引額は836億円（同80.6%の増加）の輸出超過で、5ヵ月連続の増加となった。

品目別では、輸出は「がん具」、「魚介類及び同調製品」、「非金属鉱物製品」などは減少したものの、「原動機」、「自動車の部分品」、「科学光学機器」などが増加した。輸入は「無機化合物」、「音響・映像機器〔含部品〕」、「科学光学機器」などは減少したものの、「金属鉱及びくず」、「液化天然ガス」、「がん具及び遊戯用具」などが増加した。

地域別では、輸出は「アジア」、「アメリカ」、「EU」が増加した。輸入は「アジア」、「アメリカ」、「EU」が増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,803億円	+55.6%	968億円	+39.0%	836億円	+80.6%
	9ヵ月連続の増加		6ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 原動機	209億円	+57.6%	輸入	増加品目	(1) 金属鉱及びくず	53億円	112倍
		(2) 自動車の部分品	166億円	+67.4%			(2) 液化天然ガス	71億円	+245.7%
		(3) 科学光学機器	147億円	+48.7%			(3) がん具及び遊戯用具	37億円	+350.8%
	減少品目	(1) がん具	13億円	▲21.5%		減少品目	(1) 無機化合物	2億円	▲80.9%
		(2) 魚介類及び同調製品	2億円	▲58.7%			(2) 音響・映像機器〔含部品〕	3億円	▲52.7%
		(3) 非金属鉱物製品	12億円	▲6.2%			(3) 科学光学機器	8億円	▲30.7%
主要地域増減	アジア、アメリカ、EUが増加			主要地域増減	アジア、アメリカ、EUが増加				

（参考）ドルレートは、110.55円（前年同月比3.1%、3.32円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	10億円	+1.5%	30億円	+160.5%	▲20億円	15倍
	2ヵ月ぶりの増加		3ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 電気計測機器	286百万円	+482.9%	輸入	増加品目	(1) とうもろこし	1,853百万円	+282.9%
		(2) ポンプ及び遠心分離機	148百万円	+70.0%			(2) 石炭	740百万円	全増
		(3) 無機化合物	108百万円	+120.0%			(3) 無機化合物	100百万円	+232.3%
	減少品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	131百万円	▲56.3%		減少品目	(1) 有機化合物	—	全減
		(2) 金属鉱及びびくず	—	全減			(2) 魚介類及び同調製品	18百万円	▲25.9%
		(3) 写真用・映画用材料	202百万円	▲29.5%			(3) 紙類及び同製品	—	全減
主要地域増減	アメリカが増加、EU、アジアは減少				主要地域増減	アメリカが増加、アジア、EUは減少			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	341億円	+33.0%	19億円	+46.2%	322億円	+32.3%
	13ヵ月連続の増加		7ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	6,121百万円	+562.9%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	795百万円	+879.4%
		(2) 無機化合物	2,766百万円	+596.2%			(2) 調製石油添加剤	352百万円	全増
		(3) 楽器	2,581百万円	+119.9%			(3) お茶	14百万円	全増
	減少品目	(1) 自動車	10,718百万円	▲45.6%		減少品目	(1) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	—	全減
		(2)					(2) 非金属鉱物製品	0.2百万円	▲99.7%
		(3)					(3) 粗鉱物	—	全減
主要地域増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少				主要地域増減	アジアが増加、EU、アメリカは減少			

4. 静岡空港

輸出入実績なし